

(AO入試I)

平成31年度入学試験問題

小論文

(農学生命科学部 国際園芸農学科)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙1枚と下書き用紙1枚を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。数字・アルファベットの場合も同様とする。
6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

下記の新聞記事，図1，図2，表1，表2の資料を参考に，以下の問いに答えなさい。

著作権の関係上，省略します。

(朝日新聞 2017年5月4日 朝刊を一部改変し引用)

著作権の関係上、省略します。

図1 コメの生産量と一人当たり消費量の推移

出所：農林水産省「食料需給表」および「米をめぐる関係資料」

(<http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/fbs/attach/pdf/index-4.pdf> ,
<http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokuryo/171130/attach/pdf/index-15.pdf>)より作成

著作権の関係上、省略します。

図2 コメの需要実績と銘柄数の推移

注：銘柄数は、表示できる産地と品種の組み合わせ

出所：農林水産省「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（平成29年度3月31日公表）」

（http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku_sisin/attach/pdf/sisin_290331-1.pdf）及び「国内農産物の産地品種銘柄一覧」

（<http://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kensa/sentak/>）より作成

表1 コメをめぐる農政の動き

著作権の関係上、省略します。

出所：朝日新聞 2017年5月4日朝刊

表2 コメの用途別生産量の推移

著作権の関係上、省略します。

資料：農林水産省「米をめぐる状況について（平成30年10月）」
(http://www.maff.go.jp/j/seisan/kikaku/attach/pdf/kome_siryou-189.pdf) より改変し引用

問1. 近年のコメの需要と供給の動向について、200字以内で説明しなさい。

問2. 2018年、コメの生産調整が廃止された。これによるコメ生産者への影響はどのようなものが考えられるか。また、それに対して、生産者はどのような対応が求められているか、600字以内で書きなさい。